

令和8(2026)年度 高校生読書活動推進事業

読書コンシェルジュ 学校での活動計画



栃木県教育委員会では、高校生読書活動推進リーダー「読書コンシェルジュ」の育成・任命を行っています。

本資料は、令和8年8月に、読書コンシェルジュが同世代に読書の楽しさを広めるために作成した活動計画書をまとめたものです。

今後、読書コンシェルジュは、本資料を参考にしながら、所属校で読書活動推進に係る取組を実施することとしています。

栃木県教育委員会

【テ ー マ】 呼び込め！3階奥の図書館！！

【活動時期】 10月か11月の1か月間

【活動場所】 図書館

【活動内容】

毎週月曜日にスーパーのチラシ風の「今週のおすすめ！」ポスターを配布。毎週1つのテーマについて、10～20冊の本を店頭にあるようなポップとともに貸し出す。まれに「特売日」として、くじ引きを行う。景品は、テーマ自由の本に表紙が見えないようカバーをかけ、印象的な一文だけを書いたもの、貸出期間1週間延長券、先生の手書きイラスト付きしおり、可能であれば購入50円（くらいの）割引券とする。期間内は朝読OKにする。

【期待される効果】

「ちょうどこういう本が読みたかった！」という本に出会える。図書館に行くきっかけになる。どのテーマが1番借りられたかのデータも得られる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・テーマに合う本…10～20冊／週。店頭にあるようなデザインのポップ。
- ・くじの箱、くじ、くじの景品…割引券：本：しおり：はずれ＝1：4：15：20
- ・本…16冊程度
- ・しおり…60個（誰がやるかは有志や先輩の評判による）
- ・スーパーのチラシ風ポスター

【実施日の取組内容・必要な物品等】

放課後にテーマを入れ替える。先生にしおり用の絵を描いてもらう。朝読ができるよう先生に交渉する。

【テ ー マ】 本の福袋

【活動時期】 10月～

【活動場所】 図書館

【活動内容】

3～5冊の本とおまけ（先生の手描きしおり、駄菓子、購入で使えるクーポン等）の入った福袋を用意し、図書館の入口に置く。「#青春」「#ミステリー」「#話題の作品」「#短時間で読める」「#一度読んでみてほしい」「#ホラー」など、手に取ってもらえそうなジャンル分けをする。

【期待される効果】

本への興味を持ってもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・本をジャンル分けして袋詰め
- ・購入から許可を得る、先生からの許可を得る（おまけの案が通った場合）
- ・生徒、先生への呼びかけ（放送やHRを活用）
- ・紙袋、カラーペン等（飾り付け）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

ポスターで宣伝、生徒・先生への呼びかけ

【テ ー マ】 回る学級文庫

【活動時期】 9 月～3 月

【活動場所】 教室

【活動内容】

各クラスの担任・副担任が一冊ずつ選んだ本（14 冊）を学級文庫として、2 週間ごとにクラスに置く。

【期待される効果】

普段図書館に行かない人が本を手取るきっかけを増やす。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・先生におすすめの本を選んでもらう。
- ・本を入れるための箱又は棚を用意する。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・本
- ・名簿

【テ ー マ】 ポップでビブリオバトル

【活動時期】 10 月～3 月

【活動場所】 図書館、昇降口

【活動内容】

先生におすすめ本を紹介するポップを書いてもらい、掲示する。

丸シールで投票してチャンプ本を決める。昼休みに開催を放送する。

【期待される効果】

図書館利用者を増やすことができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

ボード、丸シール、先生に作っていただくポップ

【実施日の取組内容・必要な物品等】

掲示、募集期間：2 週間

【テ ー マ】 先生の好きな本

【活動時期】 夏休み明け～

【活動場所】 図書館

【活動内容】

先生に好きな本を教えてもらう。本に、どの先生からおすすめされているか分かるようにポップ等で表示する。なぜ好きなのかのエピソードも書いてもらう。

【期待される効果】

身近な先生がおすすめしている本なら、普段読まない人も読みたくなるかもしれない。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・先生に好きな本を聞きに行く（エピソードも）。
- ・各教室に活動を知らせるプリントを配布する。
- ・本がなかったら買ってもらうか、別の本にしてもらう。

【テ ー マ】 本のレベル分け

【活動時期】 先生と要相談

【活動場所】 図書館（入ってすぐ又はマンガが置いてある机）

【活動内容】

- ・本を読みやすさでレベル 1～5 に分ける。（まず本に触れたい人～難しい文を読みたい人）
- ・図書委員や先生におすすめの本と読みやすさのレベルを聞いて、「〇〇先生がおすすめする読みやすさレベル〇の本」として飾る。
- ・本のジャンルも分かるようにする（恋の 1～5 やミステリーの 1～5 など）
- ・ポスターを掲示する。

【期待される効果】

レベル 1 は、本を読まない人も手に取りやすくなる。図書館に足を運んでもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・先生に依頼し、本のレベル分けをする。
- ・イベントを知らせるポスターを作る。
- ・ポスター（パソコン or 手書き）を作る人を決める。
- ・先生にお願いする人を決める。
- ・イベントのポップを作る人を決める。
- ・ポスター、ポップの材料を準備する。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・本をレベル順に並べる。
- ・昇降口又は各クラスにポスターを掲示する。
- ・放送でお知らせする。

【テ ー マ】 新たな本との出会いを増やす

【活動時期】 9月～

【活動場所】 教室

【活動内容】

各クラスの図書委員が選んだ図書館の本を各教室に配置する。

【期待される効果】

- ・ 普段図書館に行かない人が本を手取るきっかけになる。
- ・ 忙しくて図書館に行く暇がない人も助かる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

小さめの本を入れる箱又は棚

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ 本
- ・ 名簿（借りたいときは名前を書く）

【テ ー マ】 ハッシュタグで読む “タグ読み”

【活動時期】 10月～3月

【活動場所】 図書館、渡り廊下

【活動内容】

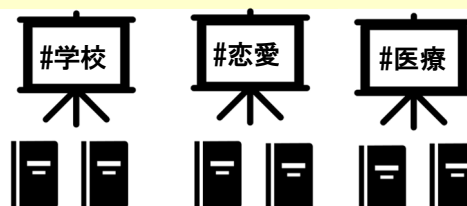
本が苦手な人、あるいは読んだことのない本に挑戦する人向けに、ジャンルを分かりやすく“#”で伝える。本のジャンルごとに数冊ずつ選び、“#”をつけて手に取りやすくなるような展示をする。

【期待される効果】

- ・ 本が苦手な人でも内容が分かれば読もうと思ってもらえる。
- ・ 本好きでも挑戦してもらえるため、貸出冊数・利用者数が増加する。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 再生紙、カラーペン（“#” 展示用）、本
- ・ 小説・マンガは問わない。
- ・ 映像化した作品の本も加える。
- ・ 「#学校」「#恋愛」「#医療」など。



【実施日の取組内容・必要な物品等】

図書館入口付近にコーナーを設けて展示する。先生からのおすすめ本も「#先生の推し本」として一緒に紹介する。昼食時の校内放送等で周知する。

【テ ー マ】 本とマッチング

【活動時期】 10 月～3 月（9 月に準備する）

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ① ジャンルくじ…NDC（日本十進分類法）が書かれた紙を四つ折りにして箱に入れ、くじとして引いてもらう。くじには3種類あり、1ケタのものは1ポイント、2ケタは1.5ポイント、3ケタは2ポイントとし、5ポイントたまったら、先生お手製のイラスト付きの特製しおりがもらえる。紙は繰り返し利用する。ポイントを記録するカードを作る。9、91、913は蔵書数が多いため、著者の名前も書く。しおりはいつでも交換できる（しおりは2週間で先生が切り替わり、一回で先生2～3人。最後の先生は余りから選べる）。
- ② 本棚マッチング…本を選ぶ視点（ジャケ買い、ジャンル買いなど）、好きなジャンル、本棚にある私のおすすめ4冊・名前を書く欄のある紙とポストを人通りの多い場所（自販機の近く等）に置く。（生徒に記入・投函してもらう。）投函された紙を視点やジャンルで分類し、同じようなタイプの人と分ける。別の人のおすすめ本4冊を書いた紙を封筒に入れ、名前を書いてクラスの手紙BOXに入れる。同じようなタイプの人がない場合を減らすため、視点・ジャンルは選択式（その他は記述式）とする。

【期待される効果】

- ① 普段から図書館に来る人は新しいジャンルの本を読むきっかけとなり、普段読まない人も、ごほうびと絡めることで本を読むきっかけになる。
- ② 図書館に来なくても、おすすめの本を紹介すること・知ることができる。「本をあまり読まない層」の新規獲得が見込まれる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ① 各NDCの蔵書数の把握、くじ（割合 2ケタ＞1ケタ≒3ケタ）の作成、箱（3つ）、告知ポスター（クラス数分）、先生へのイラスト依頼、しおり・ポイントカード作成
- ② アンケート用紙の作成、設置場所を考える、設置許可を取る、紙の分類、おすすめ本の封筒入れ、ポスト・告知ポスター封筒の用意

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ① 図書館入口に箱を3つ置き、どれかからくじを引いてもらう。借りる本と一緒にその紙を提示してもらう。ポイントカードは初回に渡し、次回からは持ってきてもらう。
- ② ポストの中を確認し、同じタイプの人のおすすめ本をそのままお互いへのおすすめ本として書き、封筒に入れる。

【テ ー マ】 中庭図書館

【活動時期】 9月～11月

【活動場所】 中庭

【活動内容】

中庭でおすすめの本の貸出しや紹介を行う。昼休み、数日の開催。可能であれば、最終日には読まなくなった本の交換会や、廃棄する本の配布などのイベントを行う。おすすめの本については、テーマごとなど、ほかの読書コンシェルジュの活動（〇〇な本展など）から選書。

【期待される効果】

図書館の場所が遠く、行くのが面倒だという人も、気軽に参加でき、興味を持ってもらうことができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・おすすめの本を選ぶ。それに合わせたポップや展示物の作成。
- ・本の交換会に参加できる人を集める。
- ・物品：ポップ用紙、カラーペン等、展示物用の模造紙

【実施日の取組内容・必要な物品等】

机や椅子、作成したポップ、おすすめの本などを設置する。

本の紹介や貸出しの手続きをする。

※物品：交換会に持ってくる本（各自）、廃棄する本

【テ ー マ】 『当て字がカッコ良すぎるよ展』を催す！

【活動時期】 読書週間（余裕があったら数か月に一回）

【活動場所】 図書館内や各学年の廊下、昇降口や渡り廊下

【活動内容】

- ・「〇〇すぎるよ展」のように様々な新しい「切り口」のテーマを設定し、展示を行う。
- ・今回のテーマでは、「^{タイムスリップ}時空移動」のように文中で珍しい当て字がある本をジャンル別を選び、展覧会風に紹介する。
- ・旧書から新書まで幅広く置く。

【期待される効果】

普段本を読まない層の人たちに、少しでも興味を持ってもらい利用を増やすだけでなく、新しい本との出会いの意外性を楽しんでもらう。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・あらかじめ図書委員が本を選書するだけでなく、全校生徒にも募集をかける。
- ・必要なもの：画用紙などの工作用具

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・展示物を掲示し、昼・掃除の時間に校内放送をする。
- ・展示して終了にならないよう、図書館外の廊下（各学年）にも掲示して目に入るように工夫する。

【テ ー マ】 読まないなら読ませればいいじゃない

【活動時期】 文化祭（8月末）

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

本のタイトルでクロスワードを作る。問題文は答えとなる本の書き出し。校内に答えの本の紹介文を散らばらせる。全部埋まったら何かと交換できる。回答用紙は紹介文の隣に置いておく。

【期待される効果】

あらすじの紹介よりも雰囲気伝わると思う。廊下を歩くだけでも文化祭を楽しめる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・紙、景品、本
- ・本選び、クロスワード作り、景品作り（問題に使われた本の一文を使えたら使いたい）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・紙、景品
- ・景品を持って校内を歩く。

【テ ー マ】 ビンゴで図書室の利用者増 and ジャンル開拓

【活動時期】 12 月

【活動場所】 図書館

【活動内容】

ビンゴを行う。日本十進分類法を用いてビンゴカードを作成する。ビンゴした場合、景品を贈る。

【期待される効果】

図書館でイベントを行っていることに興味が湧き、図書館利用率が高まる。
ビンゴを揃えるために、普段借りないジャンルを借りるきっかけになる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ビンゴカードの作成。縦横3マス、中央は事前に穴を空けておく。また、同じ番号だけで揃わないように注意する。
- ・景品の用意。ボールペンや消しゴム、ふせんを用意する。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・カウンターで貸出し作業時、ビンゴカードを配布。
- ・貸し出す図書の番号とビンゴカードの番号が合致する場所に穴を開ける。
- ・揃った場合、用意した景品から1ビンゴにつき1つ持ってもらう。

【テ ー マ】 貸出しゼロ展

【活動時期】 9 月後半～（目安）

【活動場所】 学校図書館

【活動内容】

一度も貸出しされていない本から何冊か選んで展示する。有名な本は紹介しなくても借りてもらえると思うので、隠れた一冊に出会うことができるようにするための展示。また、「一人目の読者」というのは特別感があるため、より手を伸ばしたくなるような展示にできる。ポスターや放送で告知する。

【期待される効果】

- ・購入されたきりの本の減少
- ・新たな分野へ興味・関心を広げる

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・内容：展示のためのスペースを作り、そこに本や作成した紹介（本の内容でなくても可、ブースの紹介、ジャンルなど）を置く。貸出しされていない本は、自分たちで時間を見つけたりするか、蔵書点検をしながら調べたりする。その中でも、ジャンルなどを意識して選書する。
- ・物品：本、画用紙、ペン等

【実施日の取組内容・必要な物品等】

事前に用意しておいたものを展示する。

【テ ー マ】 高校生に「本」を伝える

【活動時期】 10 月～3 月

【活動場所】 一年生の教室（HR）、昇降口、図書館前のドア

【活動内容】

- ・HR：2 週間に一冊、おすすめの本を紹介する。本の写真、題名が書かれた紙を教室の黒板に貼り、2 週間ごとに変える。（隣のクラスで掲示していた紙を使う）紙が変わった日は SHR で紹介する。
- ・昇降口：図書館が遠い一年生向けに HR で紹介している本の貸出しをする。
- ・図書館：図書館の前に本の貸出し方法、マップ、ルールを書いた紙を貼る。

【期待される効果】

- ・図書館の存在の認知
- ・本の貸出し数の増加
- ・貸出し方法を忘れて本を借りられなくなった人がいなくなる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・HR：おすすめ本 6 冊、おすすめ本の写真、A 4 用紙 6 枚、カラーペン、マグネット
おすすめ本を写真に撮り、題名などを空きスペースに書く×6
- ・昇降口：おすすめ本 6 冊（HR と同一）、鉛筆、管理用名簿、A 4 用紙一枚（ルール用、図書館のものと同様）
- ・図書館：大きい紙、カラーペン。本の貸出し方法、図書館でのルールを書く。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

HR での宣伝

No. 18 R 8 読書コンシェルジュ活動計画書	
【テ ー マ】	参加型の展示で図書館を盛り上げよう
【活動時期】	10 月～
【活動場所】	図書館
【活動内容】	①書き込めるしおりを作成し、片面をポップのようにする（本と一緒に掲示）。本を貸すときにしおりと一緒に貸出し、読んだ人がしおりの裏面に感想やコメントを書く。 ②展示スペースに空きを作っておいて、図書館の利用者が自分のおすすめの本を置けるようにする。※本の管理が難しい？
【期待される効果】	他の人と間接的に本の感想を共有できて、一人で読書するよりも楽しくなる。
【準備段階での取組内容・必要な物品等】	展示する本を選び、しおり（ポップ）の作成をする。 掲示物、もしくは校内放送などによって活動の内容を知ってもらう。
【実施日の取組内容・必要な物品等】	展示コーナーの設営 学級などへの呼びかけ

No. 19 R 8 読書コンシェルジュ活動計画書	
【テ ー マ】	読書推進のための展示方法の工夫
【活動時期】	①常時 ②③秋 ④年度末
【活動場所】	図書館内
【活動内容】	①大学ごとに大学教授の著書を集めたコーナーを作る。 ②本の中に隠れたキーワードを集めて謎を解くイベントを行い、先着順に景品を与える。ただし、キーワードは該当する本を借りないと得られない。キーワードは司書が持っているようにする。 ③本好きの人を募っておすすめの本を交換し合う会を催す。 ④読了した冊数でランキングを作り、上位者に景品を与える。
【期待される効果】	①高校は大学を見据えて学習する場であるので、大学の雰囲気を知ることができる。 ②④図書館に行き、本を読むきっかけになる。 ③様々なジャンルを読むことで視野が広がる。
【準備段階での取組内容・必要な物品等】	①必要であれば本の購入・ポップを作成（ペンなど） ②謎の作成と景品の準備・ポスターの作成（ペンなど） ③宣伝（ポスター）、会場準備 ④景品作成
【実施日の取組内容・必要な物品等】	②景品の授与 ④ランキングの作成・景品の授与

【テ ー マ】 図書ポストの再周知

【活動時期】 夏休み明け

【活動場所】 (放送)

【活動内容】

図書ポストの使い方を放送する（利用の仕方の認知度が低いため）。

【期待される効果】

図書ポストを利用して借りやすくなる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

放送内容を考える。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

特になし。

【テ ー マ】 本に接する機会づくり

【活動時期】 11 月～3 月（次年度文化祭（9 月））

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ①気になる一行…本の書き出し一文目を展示。実物は図書館の目立つ所に設置しておく。
- ②題名クロスワード…本の名前でクロスワードを行う。正解者には何か景品を検討。
- ③来（らい）ぶらりカフェの復活…校内で行う居場所カフェとの同時開催を検討。図書館でゆったり話すことが可能。図書館へ来るきっかけづくりとする。
- ④次年度：古本市又は図書館コンシェルジュによる展示…今年度は文化祭有志団体の受付終了のため不可。

【期待される効果】

本校生徒は図書館に来ないため、来るきっかけを提供する。来たらまずは OK。そこから本が視野に入るため、興味を持ちやすくなるかも。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ①②使用する本、紙、ペン 本の決定→内容などの作成
- ③生徒会や居場所カフェ担当教員、司書と相談→テーマなどの決定
- ④次年度図書委員会へ話をする→文化祭への出展申込み→作成・本を集める

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ①②③告知をする。紙媒体では見ない生徒が多いため、口頭や HP を活用。（紙媒体の場合、目を引くものを作る）
- ④販売の場合、売り子の設置等を検討する。

【テ ー マ】 本のおみくじ

【活動時期】 秋～春

【活動場所】 図書館

【活動内容】

おみくじを図書委員と図書関係の先生と協力して作成する。おみくじを図書館に設置する。

くじの内容例：〇〇吉 あなたには【作者名やジャンル】がおすすめ！

～おすすめの【作者名やジャンル】作品～（学校にある本を複数紹介する）

おみくじ箱の近くに看板を設置する：～あなたの「運」調べてみませんか？～【本のおみくじ】

【期待される効果】

くじを引いた人が興味を持って図書館に本を借りに来る。本を読む習慣がつく。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

段ボール、ペン、紙

【テ ー マ】 誰でも楽しく多くの本に出会える！

【活動時期】 3月まで

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・誰でも書けるおすすめの本のコーナーを設ける。「自由におすすめの本を書こう」の見出しで余白がある紙とペンを用意し、自由に書き込めるようにする。
- ・差し込み型のタイトル＋内容説明の表示を作成する。（例：ちょっとした息抜きに ☆恋愛 ☆部活）
- ・多くの人が通るところにチラシ、ポップ、掲示板で周知する。
- ・NDC（日本十進分類法）で各おすすめを作る＋アンケートでよく読まれるジャンルをテーマにする。
本を読んだ人はシールをゲット（シールはマス目の書かれたカードに貼る。カードの形は考え中。
シールではなく、先生の似顔絵もいいかも）、シールが全て埋まったら景品と交換できる。

【期待される効果】

参加型のイベントであることから、生徒の興味・関心が高まる。

→継続されるし、本の楽しさを知ってもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・紙、画用紙、ペン、丸形のシール、折り紙、ラミネート
- ・大きさやデザイン、場所、何を景品にするか

No. 24	R 8 読書コンシェルジュ活動計画書
--------	--------------------

【テ ー マ】 さあ、貴方はどう生きる？

【活動時期】 いつでも。早いうちが良い。

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

時代別に偉人の伝記を並べる。できれば最新研究の新しい本が良い。入口に本の隙間に挟む用のポップを作る。ポップは本の紹介ではなく、偉人の紹介とする。

例：豊臣秀吉（1537 年—1598 年） 足軽から太閤にまで上り詰めた天下人。猿と言われていたけれど、本当は“はげねずみ”だった！？（面白いエピソードを入れて、本へ誘導）

【期待される効果】

偉人についてどんどん知りたくなり、自分でも調べたり、授業がより面白くなったりする。興味・関心の入口となる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

紙、色ペン。ポップを作る。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

本を並べ替える、ポップを挟む。

No. 25	R 8 読書コンシェルジュ活動計画書
--------	--------------------

【テ ー マ】 季節とともに本を楽しむ

【活動時期】 10 月～3 月

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

季節や行事ごとに合わせた本を展示する。季節や行事に合った飾りつけもする。

勉強だけでなく、読書スペースを作る。（勉強スペースを一部借りる）

【期待される効果】

- ・ 本に対する興味がわく
- ・ 勉強だけでなく読書をしに来るのでは？

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 季節や行事ごとに合わせた本を図書委員や読書コンシェルジュで相談して決める。
- ・ 展示コーナーを作るため、その季節に合った飾りを作る：先生に飾りを借り、作る。
- ・ 生徒・先生への呼びかけ（ポスターを作成し、教室に展示）：用紙、ペン、シール

【実施日の取組内容・必要な物品等】

季節や行事に合わせて部屋の飾りつけや、本を展示する。

【テ ー マ】 こんなときに読みたい本

【活動時期】 未定

【活動場所】 図書館

【活動内容】

本に表紙等を完全に隠すカバーを付ける。カバーに「～なときに読みたい本」のように一文だけ書く。その中から自分に当てはまるものなど気になるものを手に取り、読んでもらう。

【期待される効果】

本をあまり読まない人やあまり積極的に本を読もうと思わない人でも興味を持ちやすく、読書のきっかけになる。自分では見つけれない本、読もうとしないような本を手にとることができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・いろいろな人の状況、心情に合うような、比較的読みやすい本を選書する。
- ・ブックカバー（になるようなペラペラで透けない紙）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・教室や廊下などに紙を置くもしくは貼る。HRなどで告知をする。
- ・告知の紙（チラシ又はポスター）

【テ ー マ】 新たな本との出会いを楽しく

【活動時期】 未定

【活動場所】 図書館、校舎内

【活動内容】

本の表紙や題名が見えないように画用紙でブックカバーを作り、その表紙に「笑いたい時に」や「本格派ミステリー」「背筋が凍るホラー」などのキャッチコピーを書き、借りてもらう。その後は任意で、匿名の感想が書けるふせんを付けてもらう。

【期待される効果】

今まで出会ったことのなかった本との新たな出会いや、今の自分の心情や経験に合った本との出会いにつながる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ブックカバーとなる画用紙、様々な種類の本、一言内容を書くためのマジックペン、読み終わった後に感想が書けるふせん、ペン
- ・設置場所の確保。
- ・本にカバーをつけ、キャッチコピーを書く。（イラストもあり？）

【テ ー マ】 手紙～拝啓 15 歳くらいの君へ～

【活動時期】 アンケート～9 月 作成 10 月 掲示 2 学期～3 学期

【活動場所】 図書館

【活動内容】

高校生、大学生、社会人等、高校生活を経験したことのある人たちから、高校生におすすめする本と簡単な紹介文、どのような状況の人に読んでほしいか等をアンケートで回答してもらい、その結果を手紙のように一つずつ封筒に入れ、「〇〇な人へ」とだけ表に書いて、図書館等の目立つ場所に配置する。

【期待される効果】

顔も名前も知らない誰かから偶然自分の元へ届いた手紙という形をとることで、新しい本に気軽に挑戦できる。(海を渡ってきたボトルに入っている手紙みたいな)

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・アンケートをどこでどうやって回答してもらうか検討する（先生に相談する）
- ・アンケートを集計し（匿名化・文章も整える）、手紙の形にまとめる。
- ・企画を宣伝するポスター・チラシを作成
- ・便箋、封筒、コピー用紙（アンケートを紙で実施する場合）、手紙コーナーを目立たせる装飾（色画用紙）、ポスター用模造紙

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・教室や廊下にポスターを掲示（図書館入口にも）
- ・チラシ配布
- ・手紙コーナー作成

【テ ー マ】 古文・近代文学を身近に～どうやって触れてもらうか～

【活動時期】 9 月～3 月

【活動場所】 図書館

【活動内容】

古文や近代文学に触れてもらうため、一部分を分かりやすく日本語訳を行って、それをポップに書いて展示する。また、周知するためのポスターを作成する。

【期待される効果】

古文や近代文学に興味を持ってくれる人が増える。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

紙、ペン、ポスター用の大きな紙

No. 30	R 8 読書コンシェルジュ活動計画書
--------	--------------------

【テ ー マ】 学校全体で読んだ本の数を競争！

【活動時期】 10 月～12 月

【活動場所】 校内

【活動内容】

各クラスで読んだ本の数を競う。毎月読んだ本の数を月の終わりに記入し、期間中に読んだ本の数をクラスの合計で競う。また、図書館で借りた本は一冊を二冊分として、それ以外は一冊とカウントする（マンガ等は含まれない）。最も読んだ本の数が多いクラスを優勝とし、先生に関するしおりをプレゼントする。

【期待される効果】

- ・読書する人・時間の増加。図書館の利用者増加。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・図書委員による協力、宣伝、しおり作成・先生の協力、許可・記録用紙の作成

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・各クラスに記録用紙を配布
- ・最終日に回収
- ・昼休み結果発表
- ・次の日の SHR でしおり配布

No. 31	R 8 読書コンシェルジュ活動計画書
--------	--------------------

【テ ー マ】 この本はなんじゃろな

【活動時期】 長期休み前

【活動場所】 教室

【活動内容】

表紙とタイトルを表示して、偏見で本の内容を読み解く。使用する本は図書館の本とする。一番内容に近い人を表彰する。

【期待される効果】

朝の読書時間に読むものに困る人が減る。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

紙、ペン、本

【実施日の取組内容・必要な物品等】

紙とペンと本、場所、先生

【テ ー マ】 図書館に行こう！

【活動時期】 10 月末～11 月中旬

【活動場所】 図書館・廊下

【活動内容】

タイトルや冒頭が有名な小説のあまり知られていない締めの一文を紹介するポップを 3 冊分、高校生に読んでほしい本を紹介するポップを 3 冊分作成する。

先生におすすめの本を聞き、ポップを 5 冊分作成する。

ポップをチラシ・ポスターにまとめ、チラシは多くの人を通る場所に置く。本は図書室の奥の方に配置し、紹介した本を手取るまでの過程で新たな本に出会えるようにする。

先生がおすすめする本を 1 週間かけて放送する。

チラシが余った場合は朝や放課後に門の前などで配る。

【期待される効果】

普段図書館に足を運ばない人が読書に親しむきっかけとなる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・画用紙、紙、ペン、色鉛筆等の色付けができるものにより、ポップ作り。
- ・ポップの写真を撮ってチラシ・ポスターにする。
- ・放送原稿作り

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ポスターを廊下、図書館前に貼る。
- ・完成したポップと紹介本を図書館に設置する。
- ・教室前や昇降口にチラシを置く。適宜、どれくらいチラシが減ったかを確認し、チラシを増やす、自分達で配る等の行動を選択する。

【テ ー マ】 ジャンル別ビブリオバトル

【活動時期】 未定

【活動場所】 図書館

【活動内容】

絵本など、テーマを決めてビブリオバトルを行う。

【期待される効果】

様々なジャンルへの興味が出る。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

日程調整、人集め

【実施日の取組内容・必要な物品等】

集客

【テ ー マ】 みんなで物語を作ろう！

【活動時期】 9月～

【活動場所】 図書館

【活動内容】

白い紙に、ある程度の設定を記入しておき、図書館に来た人たちで少しずつ本を書いて物語をつくってもらう。ファンタジー、アクション等テーマが設定しているものや、最初の一文が決まっている、主人公の設定のみ固まっている等、いろいろな種類を用意しておく面白いかも。

【期待される効果】

本に興味を持ってもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

白い紙、ペン、置いておく場所